

1. 調査目的等

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2. 学校ごとの指標

【国語】A:98.9 B:80.8
【算数】A:98.0 B:90.0

3. 指標にむけての取組

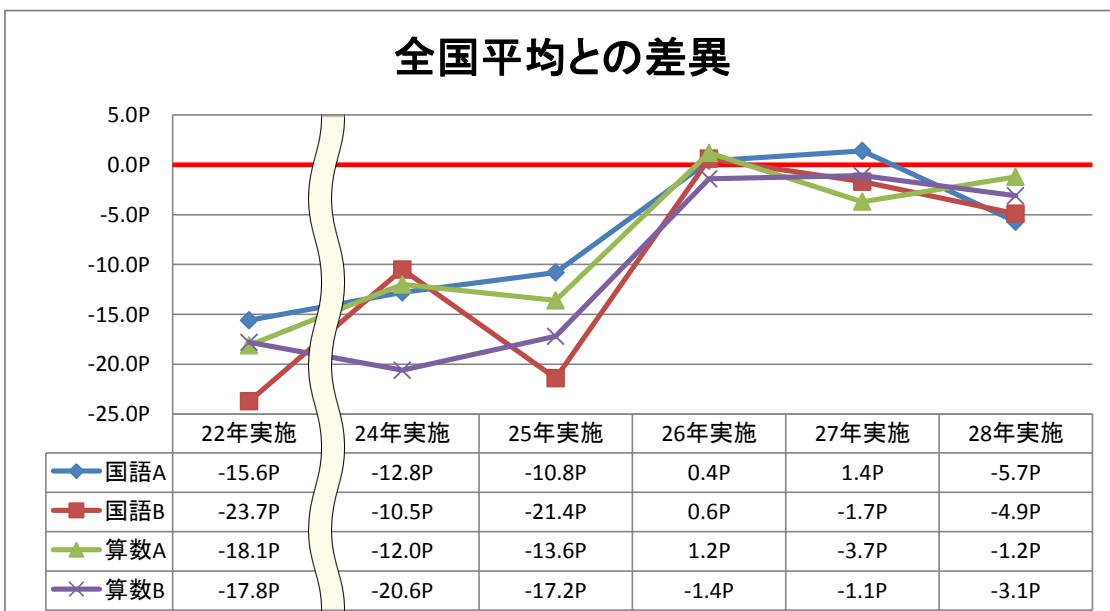
- 全国学力・学習状況調査の過去問題を家庭学習などに計画的に取り入れ、練習させる。
- 福岡県学力実態調査結果と同時に配付された練習問題に各自取り組ませ、自分の課題克服に向けた取り組みを行う。

4. 調査結果

本年度の結果 (平均正答率に対して)

教科名	国語A	国語B	算数A	算数B
本校(A)	67.2	52.9	76.4	44.1
嘉麻市(B)	65.3	51.6	72.8	41.9
(A)－(B)	1.9	1.3	3.6	2.2
福岡県(C)	71.7	57.8	77.8	47.3
(A)－(C)	-4.5	-4.9	-1.4	-3.2
全国(D)	72.9	57.8	77.6	47.2
(A)－(D)	-5.7	-4.9	-1.2	-3.1

全国平均との差異



5. 各学校における分析

【国語】漢字の定着はよいが、ローマ字が定着していない。B問題には依然として課題が多く、考えを相手にわかりやすく書くことにも課題がある。

【算数】単純な計算などはできている。百分率などの割合や式の説明をする問題は、正答率が低い傾向にある。

6. 各学校における今後の取組

○授業改善(自分の考えを説明するための思考ツールをそろえる。意見交流の時間を設定する。)

○家庭学習の充実(質と量に6年間の系統性をもった家庭学習。課題克服のための問題選定。)

○家庭との連携(朝ごはんをとる。携帯電話使用のルール作り。お手伝いの奨励。自分の考えを言わせる場の工夫。等)

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

◆ 嘉麻市学力向上推進プランに設定した「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、以下の事項について支援する。

・校内研修における授業参観指導を実施する。

・効果のあった授業モデルを提示する。

・学力向上推進員による講師及び若年層の教員を対象とした授業改善指導を継続的に実施する。

・ユニバーサルデザインの考え方に基づく実践等の情報提供を行う。

◆ 嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、以下の事項について支援する。

・「家庭学習のすすめ」を活用した指導を徹底させるとともに、「家庭学習のすすめ」を児童・生徒の全家庭に配布し、家庭への啓発を行う。

・メディアに接する時間と家庭学習の時間及び学習効果との関連について、情報提供・情報共有を行う。